

## 議員研修会

6月17日に、働き方改革の支援会社「株式会社クロスリバー」の越川慎司氏をお招きして、「民間企業における働き方改革の実情と課題」をテーマに、全議員を対象とした研修会を開催しました。

研修では、意識ではなく、まず行動を変え、修正を繰り返していく結果、意識が変わっていくことや、職場で必要なのは「ハウレンソウ（報告・連絡・相談）」ではなく、「ザッソウ（雑談・相談）」であることなど、データに基づく貴重なお話を伺うことができました。



## 議会モニターとの意見交換会

6月16日に、市議会モニターの4人（現員5人）と、議長、副議長、議会運営委員長、議会改革特別委員長、議会広報委員長による意見交換会を開催しました。

日ごろ、本会議や委員会、議会だよりなどの議会運営を市民目線で見ていただいている中で、気が付いたことや改善点など、多岐にわたる内容について、活発な意見交換が行われました。なお、議会だよりに対するご意見もいただき、今後の議会広報委員会にて検討していくこととなりました。



**議員** 電気自動車等導入費補助金の今年度の交付状況は。  
**環境経済部長** 5月末現在で4件。燃料電池車の申請件数が増加。  
**議員** 助成枠を追加、拡大するよう要望する。行政のデジタル化による温室効果ガス排出量への影響についての考えは。  
**環境経済部長** 戸田市環境マネジ



▲6月に市役所で設置されていた環境月間の展示コーナー

**議員** 環境基本計画スタートの年。具体的な方針や取り組みは。  
**環境経済部長** 環境への負荷の低い設備機器の導入費用の補助や、事業者の環境配慮に関するニーズの把握、気候変動適応策について、戸田市気候変動適応センターを活用した情報発信に取り組み。また、食品ロス削減のため、職員によるフードドライブを公民連携で実施している。  
**議員** 環境基本計画のスタートの年。環境基本計画の具体的な方針や取り組みは。  
**環境経済部長** 環境への負荷の低い設備機器の導入費用の補助や、事業者の環境配慮に関するニーズの把握、気候変動適応策について、戸田市気候変動適応センターを活用した情報発信に取り組み。また、食品ロス削減のため、職員によるフードドライブを公民連携で実施している。  
**議員** メントシステムにて評価していく。  
**議員** \*カーボンニュートラルの目標達成には、発想の転換が必要。鎌倉市本庁舎などは、使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気要件を満たす電気に切り替えた。本市も、2050年までに「ゼロカーボン・ビジョン」を示すよう要望する。



さいとうなおこ 齋藤直子 議員

議員のこぼれや  
 未来のために  
 クールチョイスしよう！

## ゼロカーボン対策

**A** 事業者の環境配慮に関するニーズを把握  
**Q** 環境基本計画の具体的な方針や取り組みは



## 一般質問



はやし ひろひこ 林冬彦 議員

議員のこぼれや  
 育つ心を優先に。  
 経済は後からついてくる。

## 緑化推進

**A** 緑化や自然再生取り組みのシンボルに  
**Q** サクラソウやモクセイを活用する構想は



**議員** アフターコロナを見据え、疲れた人の心を癒すとともに、「暮らす魅力を感じるまち・さらに人を惹きつける価値高いまち」になるために、その重要な要素として、市の緑化・花の植栽に関する計画や取り組みについて伺う。  
**環境経済部長** 「戸田市緑の基本計画」と、その下に「戸田市公園リニューアル計画」がある。各事業に取り組み中で、「生物多様性」を意識し、市民が植樹・剪定などの活動に関わり自ら緑化に取り組みことで、人材育成・技術継承を進めていく。  
**議員** 市の木・モクセイや市の花・サクラソウを活用する構想は。  
**環境経済部長** 市の緑化と自然再生取り組みのシンボルとして活用し、市内に広めていく。  
**議員** 市内の花壇整備などに関する相談先・連絡先はどこか。  
**環境経済部長** 戸田市水と緑の公社である。公社は市民協働による花壇の維持管理・緑化などのソフト事業を市内で展開している。  
**議員** 目には見えないが時間をかけて心に作用していくものの重要性を意識し、施策に生かしてほしい。緑化や花の植栽、公園リニューアルに大きく期待している。



▲戸田駅南にある「BZ花壇」

## 9月定例会から新たな会期日程を試行 オンラインによる委員会も可能に

本市議会では、議会改革特別委員会を中心に、議会の効率化などを指して議論を重ねています。今定例会では、議会運営の円滑化や一般質問の質の向上を目的に議論を重ねていた「会期日程の変更」について9月定例会から来年3月定例会まで試行すること、昨年10月に試行したオンライン会議システムを活用した委員会について、委員会条例を改正し、災害時など、参集が困難な場合の委員会の開催方法の特例として定めることが報告されました。

### 【会期日程変更の概要】

- ・一般質問と委員会審査の順番を入れ替え、委員会審査を先に行う
- ・会期日程の精査により会期を短縮（9月定例会では5日間の短縮）

### 【会期日程変更のメリット】

- ・議案説明から委員会審査までの流れが自然になる
- ・災害発生などに備え、議案審査を優先できる
- ・一般質問までの期間が延びることで、執行部との調整に時間を費やすことが可能となり、さらに充実した論戦が期待できる
- ・会期の短縮により、その他の議会活動に時間を割くことができる

### 9月定例会からの新しい定例会日程

